

---

## LOCAL 変数のリスト;

---

### 機能 :

LOCALはTSP PROCに対してローカルであると考えられる変数を指定します。その値はプロシジャーから出たときには保存されません。

### 使用法 :

LOCALステートメントは、PROCステートメントの後においてローカル変数を適用します。LOCALに続けてPROCの実行中に作成されるが、プロシジャーを出れば必要なくなる変数名を書きます。これによって保存領域を節約でき、変数名を他の場所で2重に使用できるようになり、特にPROCのライブラリーを作成し、変数名が重ならないようにしたい場合に大変便利です。

### 例 :

次のプロシジャー (ユーザー・マニュアル参照) は、現在のSMPL内で長さが自由な移動平均を計算します。1以外の最後の観測値のインデックスであるLASTと、ループインデックスLAGはPROC MAから戻ったときには保存されません。

```
PROC MA X.LEN,XMA;  
  LOCAL LAST LAG;  
  XMA=X;  
  SET LAST=1-LEN;  
  DO LAG=LAST TO -1;  
    XMA=XMA+X(LAG);  
  ENDDO;  
  XMA=XMA/LEN;  
ENDPROC MA;
```

### アウトプット :

LOCALにはアウトプットはありません。